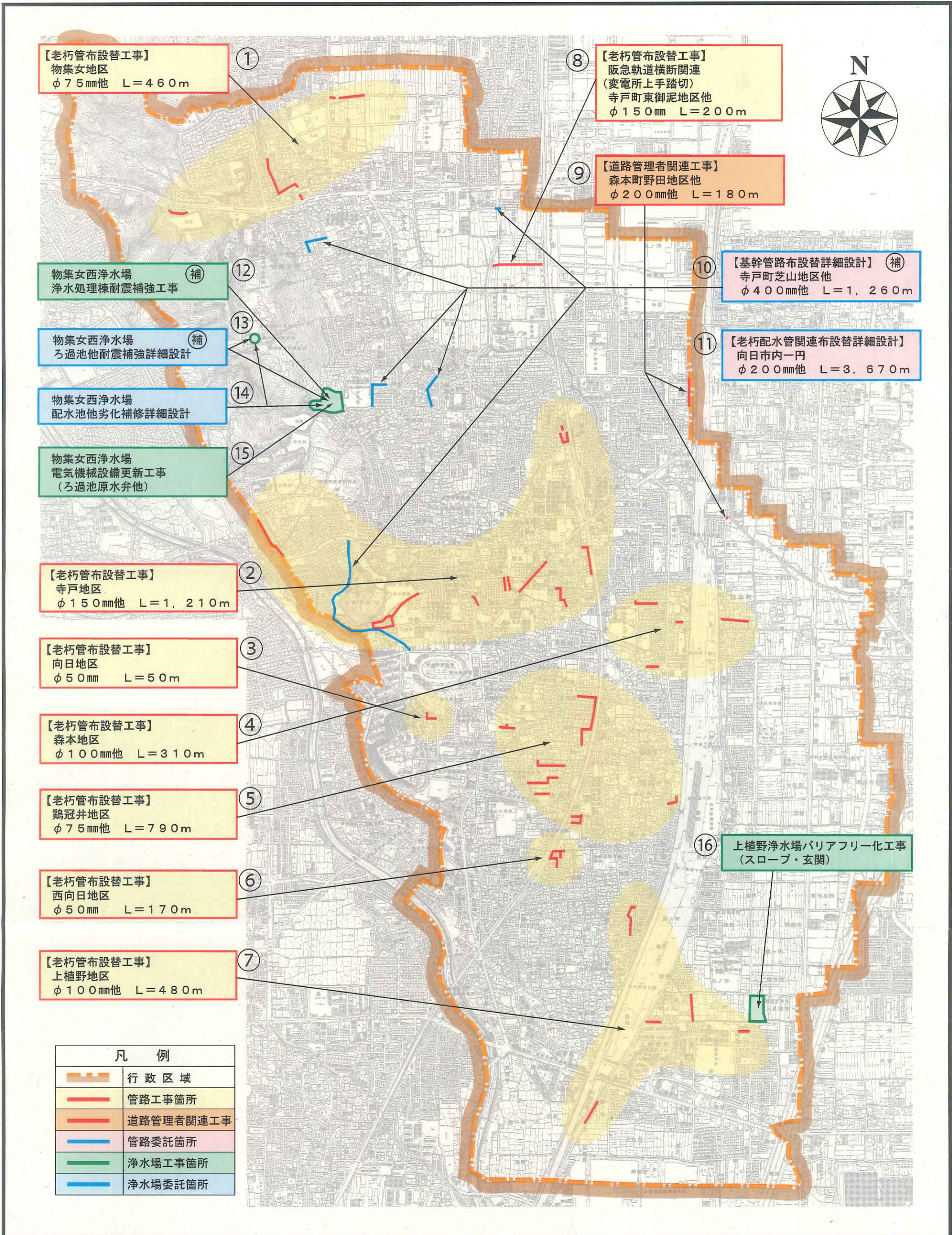


平成27年度 水道事業実施予定箇所図






平成27年度 下水道事業実施予定箇所図

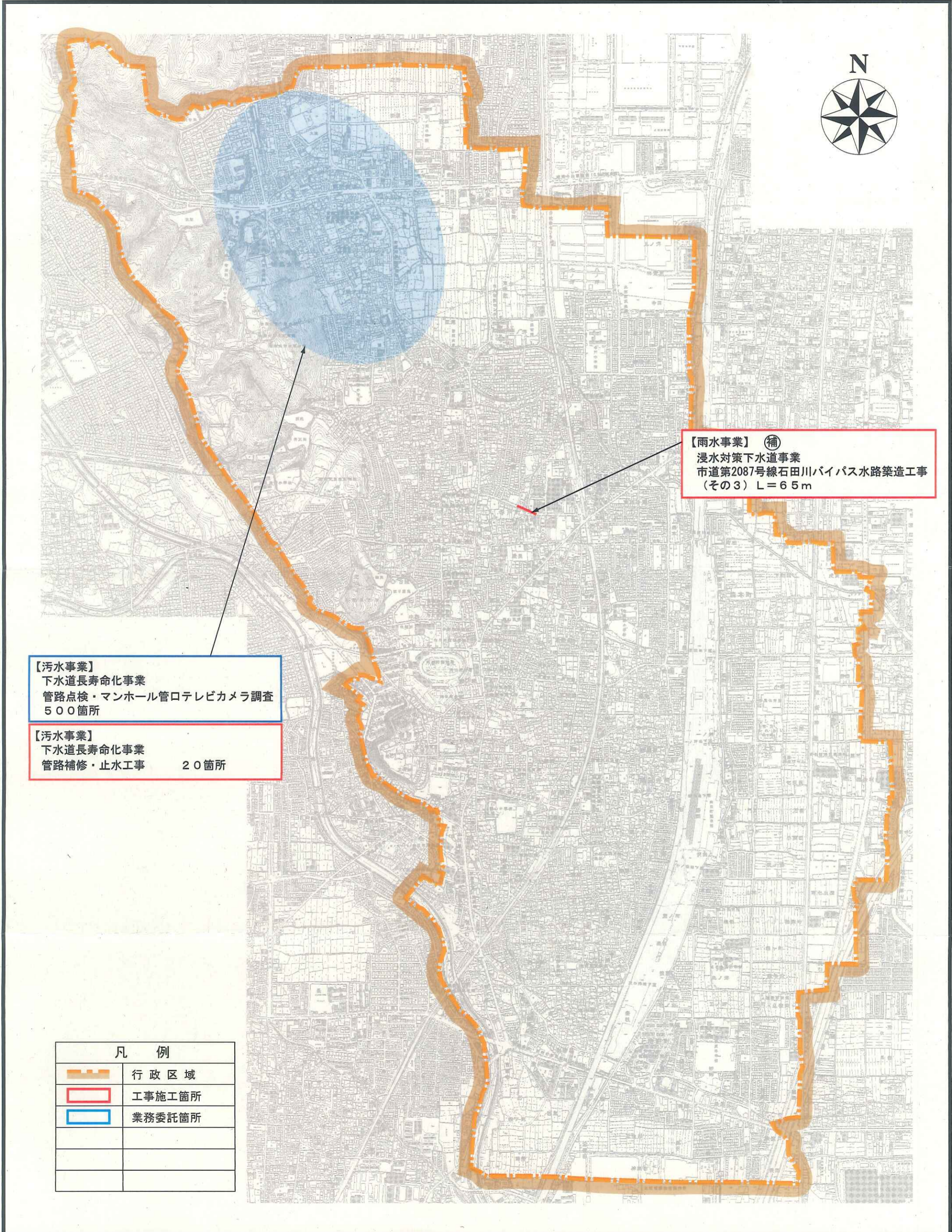


【雨水事業】 (補)
 浸水対策下水道事業
 市道第2087号線石田川バイパス水路築造工事
 (その3) L=65m

【汚水事業】
 下水道長寿命化事業
 管路点検・マンホール管口テレビカメラ調査
 500箇所

【汚水事業】
 下水道長寿命化事業
 管路補修・止水工事 20箇所

凡 例	
	行政区域
	工事施工箇所
	業務委託箇所



新水道ビジョンについて(概要)

(旧) 水道ビジョンから新水道ビジョンへ

旧ビジョン
基本理念

「世界のトップランナーとして
チャレンジし続ける水道」

(旧)ビジョン

- 1) **持続**
水道の運営基盤の強化
- 2) **安心**
安心・快適な給水の確保
- 3) **安定**
災害対策等の充実
- 4) **環境**
環境・エネルギー対策の強化
- 5) **国際**
国際協力等を通じた水道分野の国際貢献

新水道ビジョン

【現状】

現行の水道ビジョンから8年
が経過して水道を取り巻く
環境は大きく変化、課題は顕在
化している。

【課題の明示】

- 人口減少と水需要減少の
時代における今後の水道
のあり方を示す必要性
- 東日本大震災を踏まえた
水道の災害対策のあり方
を示す必要性

水道の理想像

安全

安心して飲める水道
適正な水質管理体制
統合的アプローチによる対応

強靱

危機管理に対応できる水道
適切な施設更新、耐震化
被災してもしなやかに対応

持続

国民から信頼され続ける水道
長期的に安定した事業基盤
人口減少社会を踏まえた対応

国際展開

環境対策

実現方策

《関係者の内部方策》

水道施設のレベルアップ
資産管理、人材育成・組織力強化、
危機管理対策、環境対策

《関係者間の連携方策》

住民との連携の促進、発展的広域
化、官民連携の推進、技術開発、
調査・研究の拡充、国際展開

《新たな発想で取り組むべ
き方策》

料金制度の最適化、
小規模水道対策、自家用水道対策、
多様な手段による水供給

連携

挑戦

・関係者間での
連携
・住民とのコミュ
ニケーション

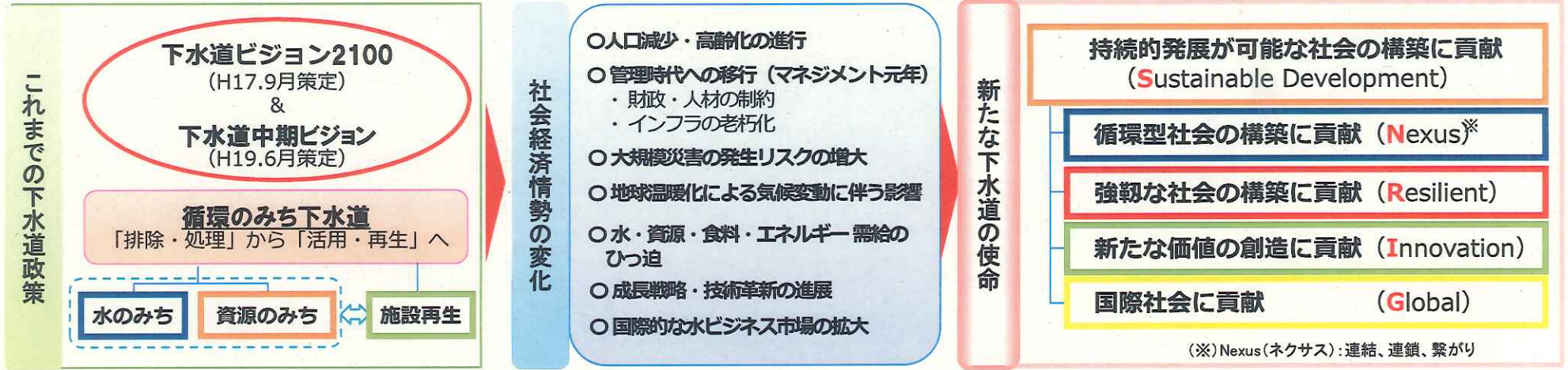
・新たな取り組み
に挑戦する姿勢
・事業環境に順
応

新ビジョン
基本理念

「地域とともに、信頼を未来に
つなぐ日本の水道」

新下水道ビジョンについて（概要）

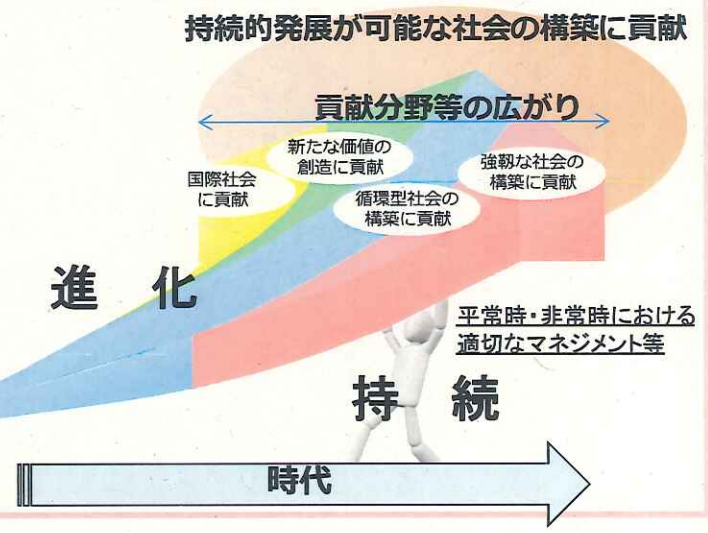
- 「下水道政策研究委員会」（委員長：東京大学 花木教授）の審議を経て、平成26年7月「新下水道ビジョン」を策定。
- 「新下水道ビジョン」は、国内外の社会経済情勢の変化等を踏まえ、下水道の使命、長期ビジョン、及び、長期ビジョンを実現するための中期計画（今後10年程度の目標及び具体的な施策）を提示。



新下水道ビジョン：「循環のみち下水道」の成熟化

- ### 「循環のみち下水道」の持続
- アセットマネジメントの確立
 - クライシスマネジメントの確立
 - 国民理解の促進とプレゼンスの向上
 - 下水道産業の活性化・多様化

- ### 「循環のみち下水道」の進化
- 健全な水環境の創造
 - 水・資源・エネルギーの集約・自立・供給拠点化
 - 汚水処理の最適化
 - 雨水管理のスマート化
 - 世界の水と衛生、環境問題解決への貢献
 - 国際競争力のある技術開発と普及展開



平成27年度上下水道事業トピックス

日本水道協会京都府支部総会を開催（平成27年5月22日）



5月22日、府内市町村の水道事業職員らで構成する、日本水道協会京都府支部の総会が、イオンモール京都桂川のイオンホールで開催されました。支部長の門川・京都市長をはじめ約80人が出席し、平成27年度の事業計画と予算を承認しました。

本市は開催市として会議に携わり、安田市長が開催地代表としてあいさつしました。

会議では、活発な議論が交わされ、水道の更新・耐震化や鉛管の早期解消などについて、国に対し財政支援を要望することが確認されました。

「カラカラで 蛇口に飛び込む 僕の口」6月1日から水道週間

（平成27年6月1日）



水道週間（6月1日から7日）に合わせて、6月1日、阪急東向日駅周辺やJR向日町駅周辺で街頭広報活動を行いました。

水道への理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るために制定された水道週間は今年で57回目。全国一斉に展開されています。

安田市長をはじめ、市指定上下水道協同組合員ら約15人が広報チラシなどを手渡し、水の大切さを呼びかけました。

いつでも安全な水を 小学生が浄水場見学（平成 27 年 5 月 19 日）



5月19日、洛南高等学校附属小学校の4年生88人が物集女西浄水場を訪れ、設備の見学と講義を通して、浄水処理の様子や水が家庭に届くまでの過程を学びました。

見学では「プールのおいがする」「処理する前もきれい」とさまざまな発見をしました。職員が説明をすると、「作っている水はどこから来るのですか」などの質問があり、興味を持って聞き入っている様子でした。

また、災害時に使用される給水車からの水くみも体験し、重力による給水とポンプを使用した給水の勢いの違いを体感しました。児童は、浄水場の管理と備えにより、安全な水が常に供給されることを確認しました。

6月末までに、洛南高等学校附属小学校を含め、市内6小学校の児童518人が浄水場の見学に訪れました。

小さな頭に、大きなヘルメット 雨水幹線「石田川1号幹線」見学会

（平成 27 年 7 月 31 日）



浸水被害の解消に大きな役割を果たす「石田川1号幹線」の見学会が7月31日に開催され、親子らが参加しました。

石田川1号幹線は、深田川橋公園から京都向日町競輪場駐車場の地下に造られた、直径3.25メートル、総距離約1.4キロメートルの雨水貯留トンネルです。

参加者は、職員から説明を受けながら、台風11号による痕跡の残るトンネル内部約300メートルを見て歩きました。参加者からは「普段入ることができない貴重な場に入ることができ感慨深い」などの声が聞かれ、和やかな雰囲気の中、市民の暮らしを守る雨水幹線について理解を深めました。